

# 平成21年度 当初予算と事業のあらまし

3月定例会において、戸張胤茂市長が平成21年度施政方針演説を行いました。平成21年度の財政状況は、市税や地方交付税など歳入の大幅な増収が見込めない状況にある一方で、扶助費や都市基盤整備事業の大幅な増加が見込まれています。

こうした中、少子高齢化問題、福祉教育の充実、都市基盤の整備、環境問題、地域産業の活性化などの課題が山積しており、この厳しい財政状況を踏まえながら、それらの解決を図るためには、主要施策の「選択」と「集中」そして「継続的な行財政改革の取り組み」が必要となります。

そのため、今後も改革の手を緩めることなく、限られた財源の中で効率的かつ効果的な事務執行に努めます。 ※施政方針の全文は、市ホームページから「施政方針」で検索してご覧いただけます。

## 基本方針

市では、行財政改革や平成17年度に策定した「財政健全化に向けた取り組み」により、「歳入に見合った歳出構造」への転換を目指して、歳入・歳出構造の見直しを行ってきました。

平成21年度からは、都市計画税の導入により、都市計画事業などに対する新たな財源の確保をさせていただきましたが、国の三位一体の改革や稀にみる経済不況などの影響から地方交付税が大幅に削減され、財政は引き続き厳しい状況が見込まれています。

このようなか中で編成した平成21年度当初予算は、第4次総合振興計画・後期基本計画の着実な推進を図るため、次の4つの重点テーマに基づき、各種施策の円滑な推進を図ります。

□子どもを産み育てられるま  
ちづくり

子育て支援や男女共同参画社会の実現、児童の健全育成など、少子化対策に重点を置き、「子どもを産み育てられるまちづくり」を推進します。

▽入院に係る医療費の支給を中学校3年生まで拡大

▽妊婦健診公費負担を5回から14回に拡大

□食で育む健康のまちづくり

生涯を通じた健全な食生活の実現、食文化の継承など、食育に重点を置き、「食で育む健康のまちづくり」を推進します。

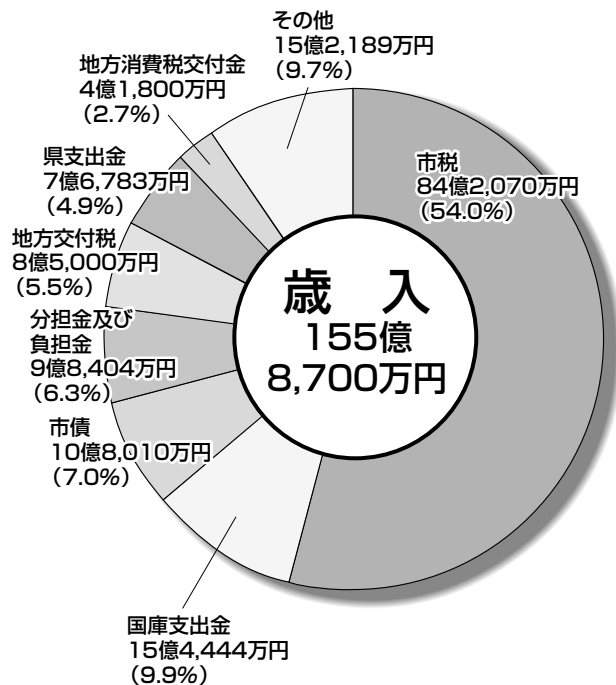
▽学校給食の献立に吉川産米米粉パンを追加

▽食育推進計画の策定

## 予算

# 155億8,700万円

<前年度比 10億7,700万円(7.4%)増>



## 一般会計から市民1人に使われるお金

<b>民生費</b>  74,311円	<b>土木費</b>  43,588円	<b>教育費</b>  32,303円
<b>総務費</b>  25,564円	<b>一般会計</b> 1人当たり <b>239,255円</b> うち市税負担 <b>129,255円</b>	<b>衛生費</b>  21,497円
<b>公債費</b>  17,857円	<b>消防費</b>  15,680円	<b>その他</b>  8,456円

(3月1日現在人口：65,148人)

## 用語の説明

▽民生費 心や体に障がいを持つ方や高齢者の方への支援、子育てへの支援など。

▽土木費 道路・公園の整備・維持管理、調整池の整備など。

▽教育費 小中学校、公民館、おあしす・図書館、総合体育館などの運営や文化財保護など。

▽総務費 市の総括的な事務や自治会活動への支援、選挙など。